

◆建物について

建物はルネサンス様式を基調とした木造葺瓦葺き二階建て。一階と二階の境に巡らせたコーニス(胴蛇腹)にこの様式の特徴を見ることができます。棟中央にそびえる塔屋は、明治11年創設の旧校舎にあった時計塔の名残であり、塔屋を中心とした左右対称形の姿は端正なたたずまいを見せます。正面中央には車寄せを付け、軒下には手の込んだ装飾が施されています。中央の屋根は櫛形、両端には切妻形の飾り破風を見せ、その間にはドーマ(屋根窓)を設けています。

内部の天井や床を斜めの板張りにしている造りもほかに例を見ないものです。見た目に美しいだけでなく、筋交いの効果を持ち構造躯体の強化にも役立っているといわれます。火災に強くするために外壁の下地には豎瓦型レンガを張り、その上からモルタルを塗っています。当時としては画期的な耐火構造的手法であり、建築技術史の見地からも貴重な遺構とされています。

◆沿革

- 明治11年(1878) 山形市旅籠町に山形県師範学校開校
 明治34年(1901) 現在地に新築移転
 昭和24年(1949) 山形大学教育学部校舎となる
 昭和38年(1963) 県立山形北高等学校の校舎となる
 昭和46年(1971) 校舎改築にともなって本館正面部分以外を解体
 昭和48年(1973) 本館が国の重要文化財に指定される
 昭和53年(1978) 遺存部分の半解体修理(～1980)
 昭和55年(1980) 門衛所および正門が国の重要文化財に追加指定される
 昭和55年(1980) 山形県立博物館教育資料館として開館
 平成6年(1994) 展示パネル更新(～1996)
 平成20年(2008) 経済産業省より近代化産業遺産に認定される

◆教育資料館について

山形県立博物館教育資料館は、山形県立博物館の分館として昭和55年に開館しました。展示室は、明治の面影をそのまま残す「旧山形師範学校」の教室を活用しています。江戸時代から現代に至るまで、山形県の教育に関するあゆみを知ることができる展示となっています。



「重要文化財旧山形師範学校本館正門修理工事報告書」より

利用案内

開館時間

9:00～16:30
(16:00までに入館ください。)

入館料

(団体は20人以上)

	大人(成年者)	小人(未成年者)	学 生
個 人	150円	70円	70円
団 体	70円	40円	40円

*小・中学生、高校生、障がい者とその付添いの方は無料です。

休館日

- 毎週月曜日と国民の祝日
(ただし、4月29日、5月3日～5日、11月3日は開館)
- 年末年始(12月28日～1月4日)

入館料無料の日

5月5日(こどもの日)、11月3日(文化の日)

山形市内略図



山形県立博物館 教育資料館

〒990-0041 山形市緑町二丁目2-8
 TEL(023)642-4397 FAX(023)642-4403
<http://www.yamagata-museum.jp/>


 国指定重要文化財
 旧山形師範学校本館

山形県立博物館

教育資料館

国指定重要文化財 旧山形師範学校本館

経済産業省認定 近代化産業遺産
HERITAGE OF INDUSTRIAL MODERNIZATION



■建物全景



■外壁とコーニス



■正門と門衛所



■天井と廊下

教育資料館

懐かしさあふれる
「学び」の空間

■学校のはじまり



幼童家庭教育用絵画

■藩校と寺子屋



■明治から大正へ



■昭和初期の教育



■戦時下の教育



■新しい教育

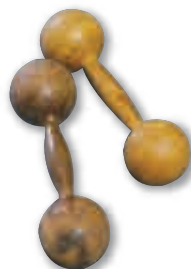


墨塗り教科書

■教育養成のあゆみ



師範学校の柱頭飾り



あ れい
垂 鈴